# 生成 AI を導入しても人材が育たない――九州情報大学・荒平高章教授が語る「AI を伴走者にする力」と実践型人材育成

デフィデ株式会社（東京都港区赤坂 2-4-6、代表取締役：山本 哲也）は、研究者・専門家へのインタビューシリーズ「AI Future Talks」において、九州情報大学経営情報学部・荒平高章教授のインタビュー全 3 編を公開しました。生成 AI の導入が進む一方、AI の回答をそのまま受け入れるだけでは、社員の判断力や課題解決力は育ちません。荒平教授は、AI を「伴走者」として活用しながら、自ら問いを立て、出力を評価・修正する力の重要性を解説。企業の実データを活用した実践教育や、専門知識とデータサイエンスを結びつける取り組みを通じ、企業の DX 担当者・人事責任者に役立つ人材育成の視点を紹介します。

生成 AI を業務に導入したものの、社員が回答を鵜呑みにしてしまう、活用が一部の担当者に偏る、研修の成果が実務に結びつかない――こうした課題に対し、必要なのはツールの操作習得だけではありません。

荒平教授は、機械工学、生体工学、バイオマテリアル研究を経て、AI・データサイエンスを研究と教育に取り入れてきました。インタビューでは、少人数教育の強みや企業データを使った分析・発表など、現場に根ざした学びを紹介しています。

全 3 編を通じ、AI との向き合い方、実データを用いた実践的な教育、AI 時代にも人間が磨くべき能力を掘り下げます。

## ■AI は「答えを出す道具」から、考える力を伸ばす「伴走者」へ

生成 AI は文章作成や情報整理を支援しますが、出力が適切かどうかを判断するのは人間です。荒平教授は、AI を単に使わせる・禁止するという二択ではなく、学びを支える伴走者として位置づけています。

その際に欠かせないのは、AI の回答を評価し、誤りや不足を見つけ、自分で修正する姿勢です。回答を受け取るだけでは、問題を理解し、考え抜く力は身につきません。

企業にとっても、生成 AI の利用回数を増やすだけでなく、社員が成果物を検証し、業務上の判断につなげられるかが重要な論点となります。

## ■「問いを立てる力」を支えるのは、言語力と基礎知識

AI を効果的に使うには、何を知りたいのか、何を解決したいのかを明確にする必要があります。荒平教授は、適切な問いを立てる力と、その土台となる日本語力や知識の重要性を語っています。

生成 AI の回答を比較・検証するためにも、対象分野についての基礎理解が不可欠です。便利なツールに任せきりにせず、自分の言葉で目的を整理し、結果を説明できることが求められます。

これは企業の AI 研修にも通じる視点です。操作方法の習得と並行して、課題設定、情報の読み解き、根拠の確認を学ぶことが、実務での活用につながります。

## ■企業の実データを使う――座学で終わらないデータサイエンス教育

九州情報大学では、数理・データサイエンス・AI 教育をリテラシーレベルから応用基礎レベルまで展開し、学生の専門性に応じた学びを提供しています。

中編では、少人数教育によるきめ細かな指導に加え、企業の実データを用いた分析や発表を通じて、知識を現実の課題へ結びつける取り組みが紹介されています。

企業が DX 人材を育成する際にも、一般的な演習にとどまらず、自社の業務課題やデータを題材に分析・検証・発表する機会を設けることが、実践力を養ううえで参考になります。

## ■専門知と AI を結びつける――研究・スポーツ分野での応用

荒平教授の研究・教育活動は、機械工学や生体工学に加え、データサイエンスの応用へと広がっています。

インタビューでは、データサイエンスを DX・ICT やスポーツの領域へ展開し、陸上競技の動作分析やコンディショニングの最適化に AI を活用する例にも触れています。

AI の価値は、技術を導入すること自体ではなく、現場の専門知識と結びつけて具体的な課題に取り組むことで生まれます。部門ごとの知見とデータ活用をつなぐ人材の重要性が浮かび上がります。

## ■AI 時代の人材育成を考える、インタビュー全 3 編を公開

前編では荒平教授の研究分野や試行錯誤を重ねる研究姿勢、中編では少人数教育と企業データを活用した実践的な学び、後編では生成 AI の進歩を踏まえた教育のあり方と人間に求められる力を取り上げています。

AI を「使える」ことと、AI を用いて課題を解決できることは同じではありません。企業の経営者、人事・研修担当者、DX 推進担当者が、社員の主体性と検証力をどう育むかを考える契機となる内容です。

【記事 URL】前編：https://www.defide-ix.com/ai/ai-future-talks/ai-companion-1　中編：https://www.defide-ix.com/ai/ai-future-talks/ai-companion-2　後編：https://www.defide-ix.com/ai/ai-future-talks/ai-companion-3

---

## ■デフィデ株式会社について

**会社名：** デフィデ株式会社
**所在地：** 東京都港区赤坂 2-4-6-6F
**代表者：** 山本 哲也
**事業内容：**戦略 AI コンサルティング／生成 AI 基盤構築支援／社内業務クラウド（SmartOps）／RAG 型 AI チャットボット・特許取得（chai+）／HR Tech（JOB Scope・生成 AI ワークバリュー・スコア分析・HR キャピタルダッシュボード）
**Web サイト：** https://www.defide-ix.com/
**主なサービス一覧：**

**chai+（RAG 型 AI チャットボット・特許取得）：**https://lp.chatbothub.ai/
**chai+ Full Duplex AI ボイスボット（特許取得）：**https://lp.chatbothub.ai/voicebot
**SmartOps（業務改革 AI プラットフォーム）：**https://smartops.jp/
**JOB Scope（タレントマネジメント）：** https://jobscope.ai/
**生成 AI ワークバリュー・スコア分析（特許取得）：**https://jobscope.ai/ai-survey/
**HR キャピタルダッシュボード（JOBScope ISO30414）：** https://jobscope.ai/hrcapital/
**AI Future Talks：**https://www.defide-ix.com/ai/ai-future-talks
**JOB Scope マガジン：** https://marketing.jobscope.ai/media/

---

## 【メディア・記者向けお問い合わせ先】

デフィデ株式会社　広報担当
Email：SalesRep@defide-ix.com
TEL：03-6551-2921
URL：https://www.defide-ix.com/